

だいたいなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう

学校だより

# くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子



## 心のきずなを深める集会・・・学級の問題や自分の行動を振り返る

9月18日から10月17日までの1カ月を人権月間に設定し、人権学習等に取り組んできました。合志市は、共通教材で取り組んでいます。人権月間のまとめは、「心のきずなを深める集会」。

今回は、学習内容は発達段階を考慮して、全校ではなく、低、高学年部の二つに分けて開催しました。

低学年部は、「安心して笑顔で過ごせる学校にするために自分



【高学年部：小グループで相談中】

にできることは何だろう」というテーマで、5グループに分かれてホワイトボードを使った意見交換。ファシリテーターの3年生と意見を書き2年生、何とも頼もしい光景だったようです。そこでは、こんな意見が集約されました。(一部紹介)

- \* 困っている人の気持ちを考えて行動する
- \* 優しい言葉を使って優しい言葉で声をかける
- \* 名前を馬鹿にしない
- \* いじめや差別を見たら、止める
- \* 人によって態度を変えない
- \* 人がいやがることを言わない

自分の経験を振り返りながら、しっかり考えることができたようです。

高学年は、「押しつけや決めつけについて」「名前の呼び捨て」について、6年生の進行で話し合いを行いました。ほぼ全員の子どもたちが拳手をし、意見を述べていました。



【低学年部：ボードミーティングで意見交換】

私は、高学年の子どもたちに「失敗は成長の貯金になるから、たくさん失敗して苦勞して、そこから学んでいけばいい」というメッセージを伝えました。

人権学習は、集会が終わればひとまず終わりではなく、むしろそこからが学びを実践につなげる、日常化していく契機だと考えています。私たち職員も、日常的な指導をさらに充実させながら、子どもの姿と行動で、この月間の取組の成果を見取っていきたいと思います。



## “全国学力・学習状況調査”結果を受けて

全国学力・学習状況調査結果につきましては、すでに報道等でご存じかと思えます。この結果から見える本校の課題等の主なもの、またそれらを校内研修等で分析し、現在取り組んでいることをお知らせします。

【各教科等の課題】

- ▲ 数直線の読み取りと問題理解、数量関係の把握が不十分。(算)
- ▲ 法則等を活用して解を導き出すことが難しい。(算)
- ▲ 問題に出されている例を利用して考えたり、条件に合うように書いたり、他の意見を利用して自分の考えを導き出すことが難しい。(国)
- ▲ 様々な種類のテキスト(連続型、非連続型テキスト)を複数読みこなし情報を編集する力が不十分。(国)

これらの課題解決のために、国語の授業における速

読、全校一斉視写タイムの設定、学力充実タイムの内容の見直し、学級活動での話し合い活動の充実等に取り組んでいるところです。

なお、質問紙では、「自分には良いところがある」という問いに対し、全児童が肯定的回答をしていることが分かりました。その一方で、全国平均に比べると、書く問題に対して諦める傾向にあること、課題解決に向け自分で考え、自分から取り組むことが困難なこと、地域・社会に関する関心が薄いこと、家庭学習の習慣化に課題があることもうかがえました。

個別の結果は本日配付をしています(6年生受考者のみ)。ご確認いただいて、是非この機会に学習への取組等、話題にいただければと思います。